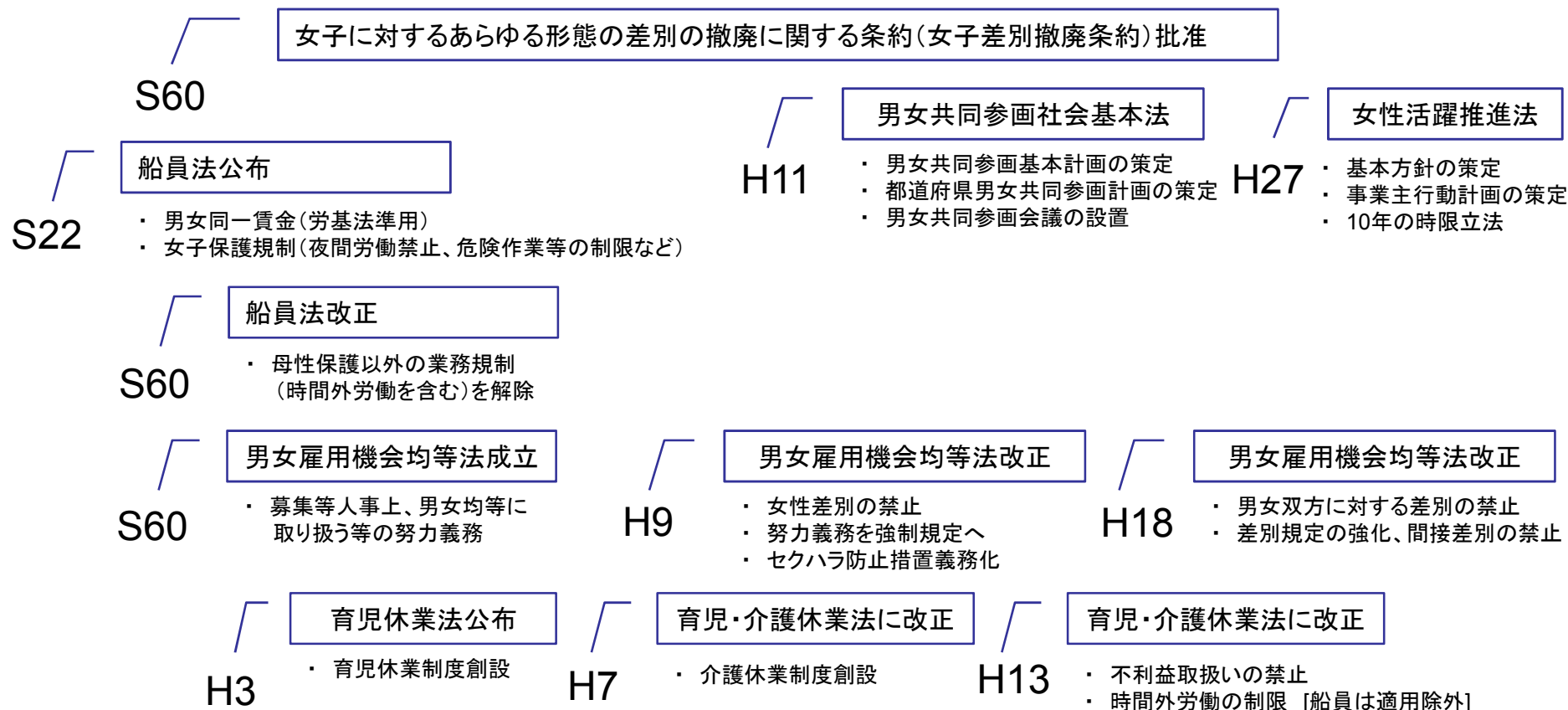


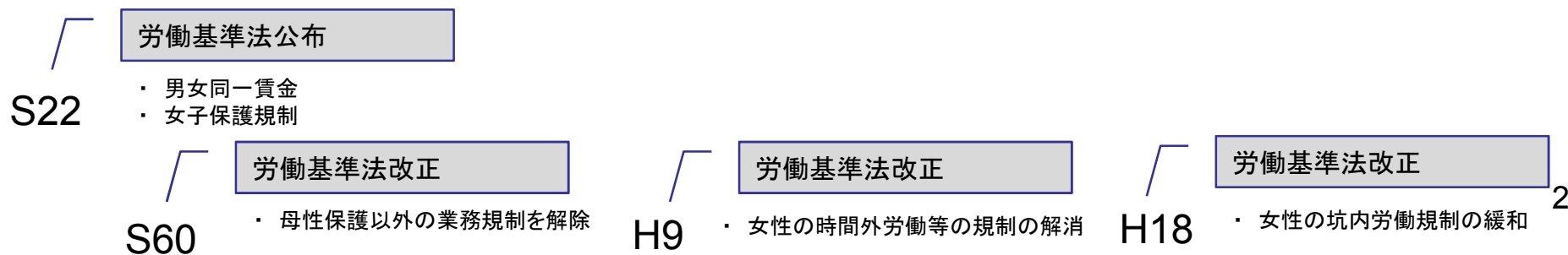
女性船員の現状等について

国土交通省 海事局
船員政策課
平成29年6月

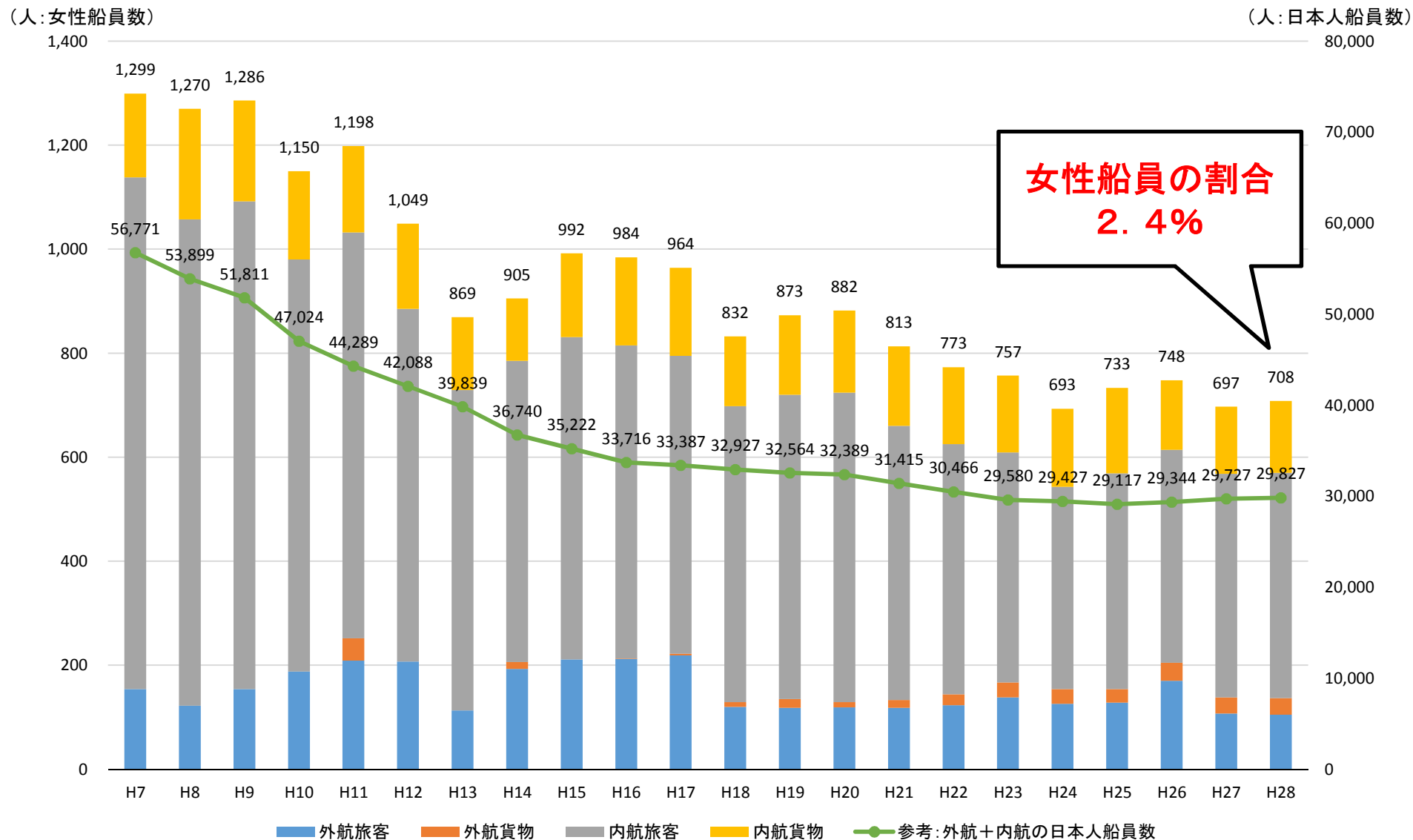
女性船員に関する法律の変遷



参考：一般労働者



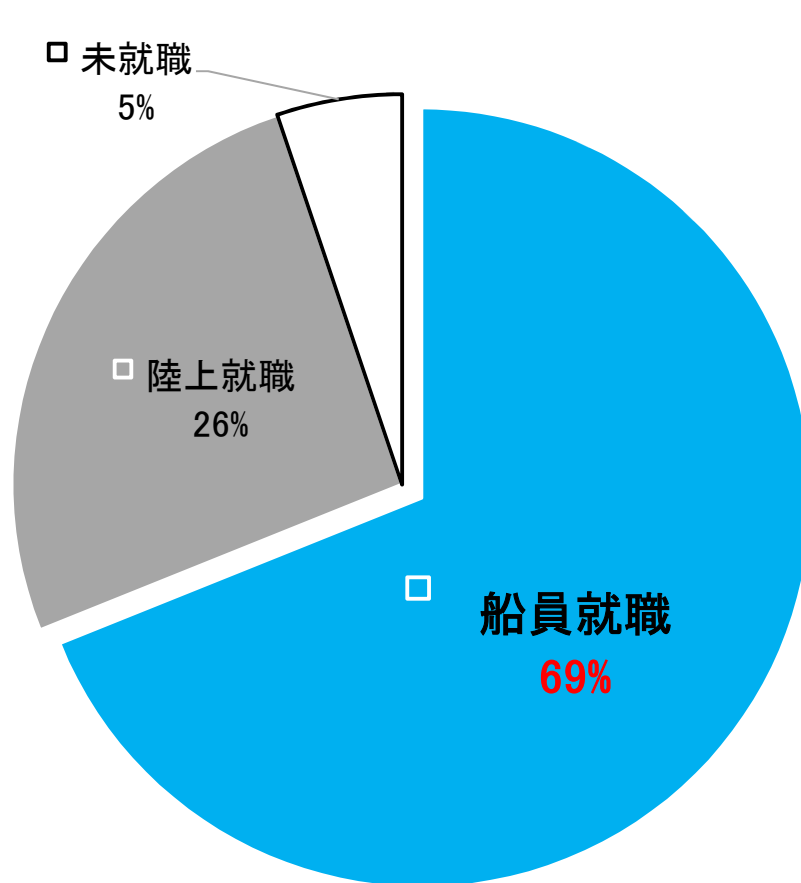
海運業における女性船員数の推移



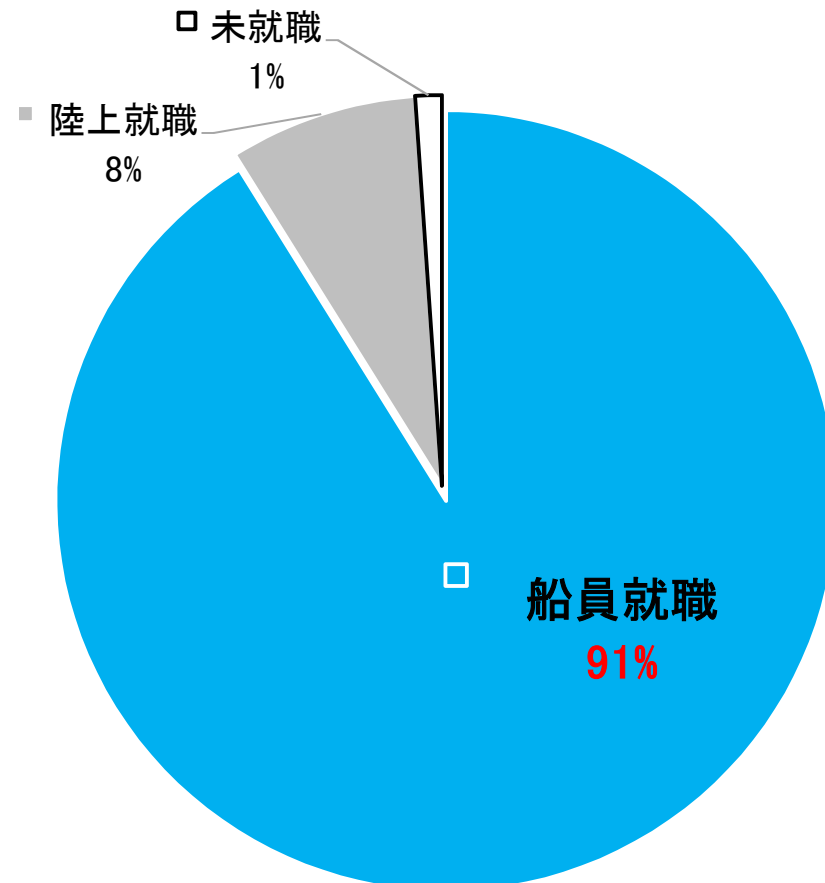
出典: 海事局調べ。(H17までは船員統計による。)

注: 棒グラフは女性船員数(平成18年以降は、国内に所在する船舶所有者に雇用される船員に限る。)を示しており、外国人を含んでいる。
折れ線グラフは、外航旅客、外航貨物、内航旅客、内航貨物の日本人船員数を合計した数であり、男女の合計数である。

女性の船員教育機関卒業生の就職状況
過去5年の就職希望者数193名の内訳



男性の船員教育機関卒業生の就職状況
過去5年の就職希望者数2,645名の内訳



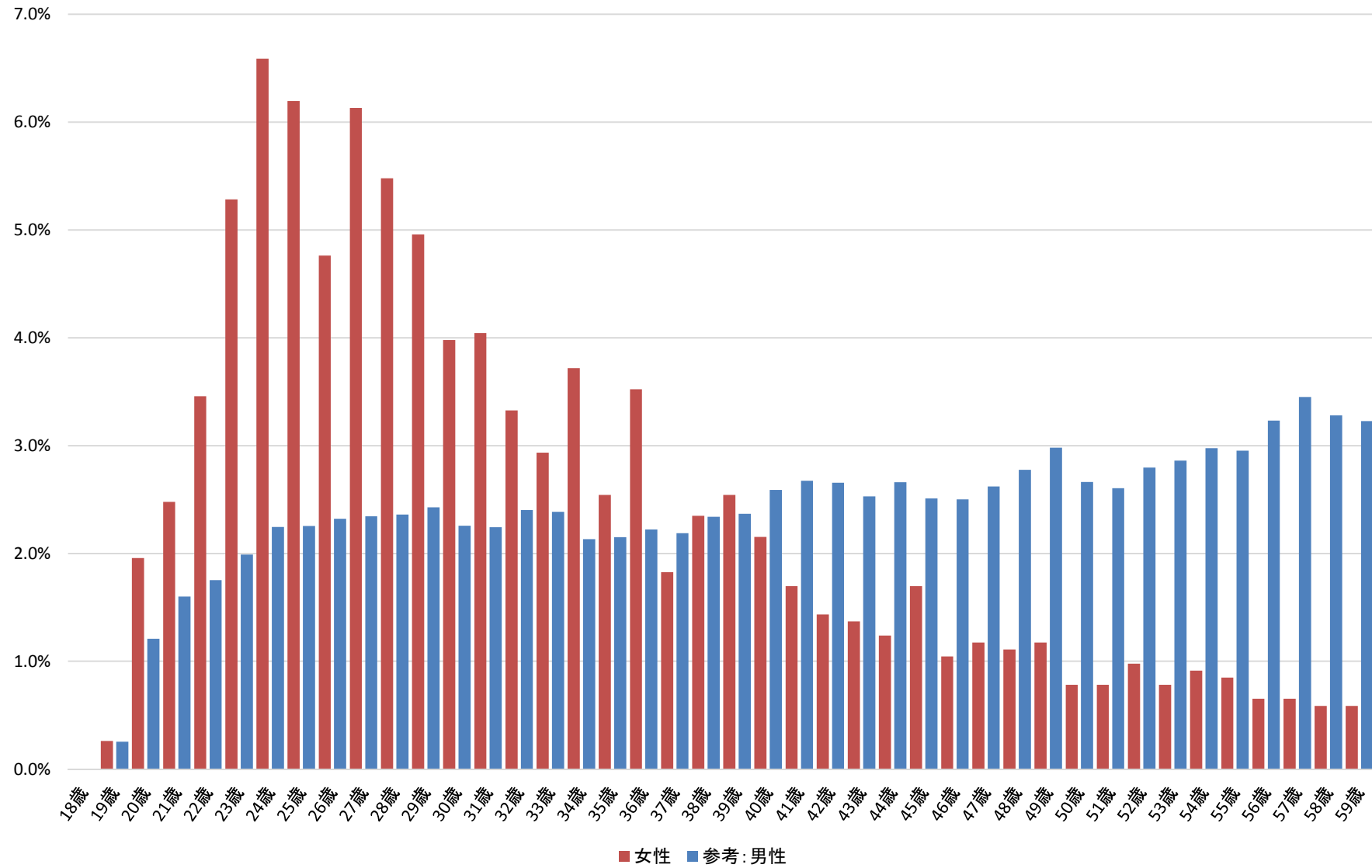
出典：海事局調べ。

注：船員教育機関卒業生とは、商船系大学、商船高専、海上技術学校、海上技術短期大学校、海技大学校（海上技術コースの卒業生のみ）である。

過去5年の就職希望者とは、平成23年度～平成27年度の卒業生のうちの就職希望者を対象としている。

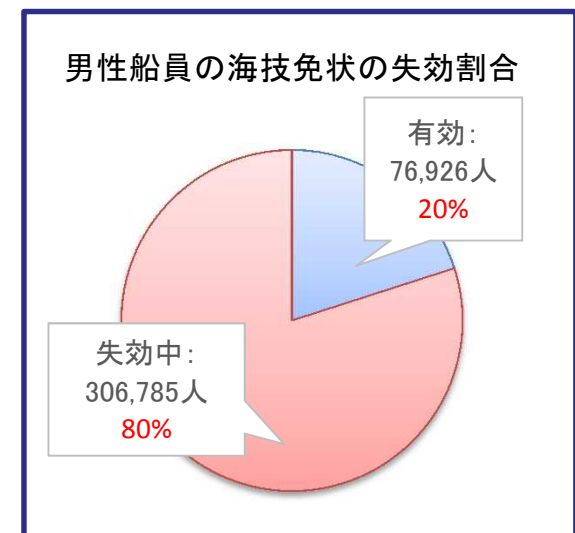
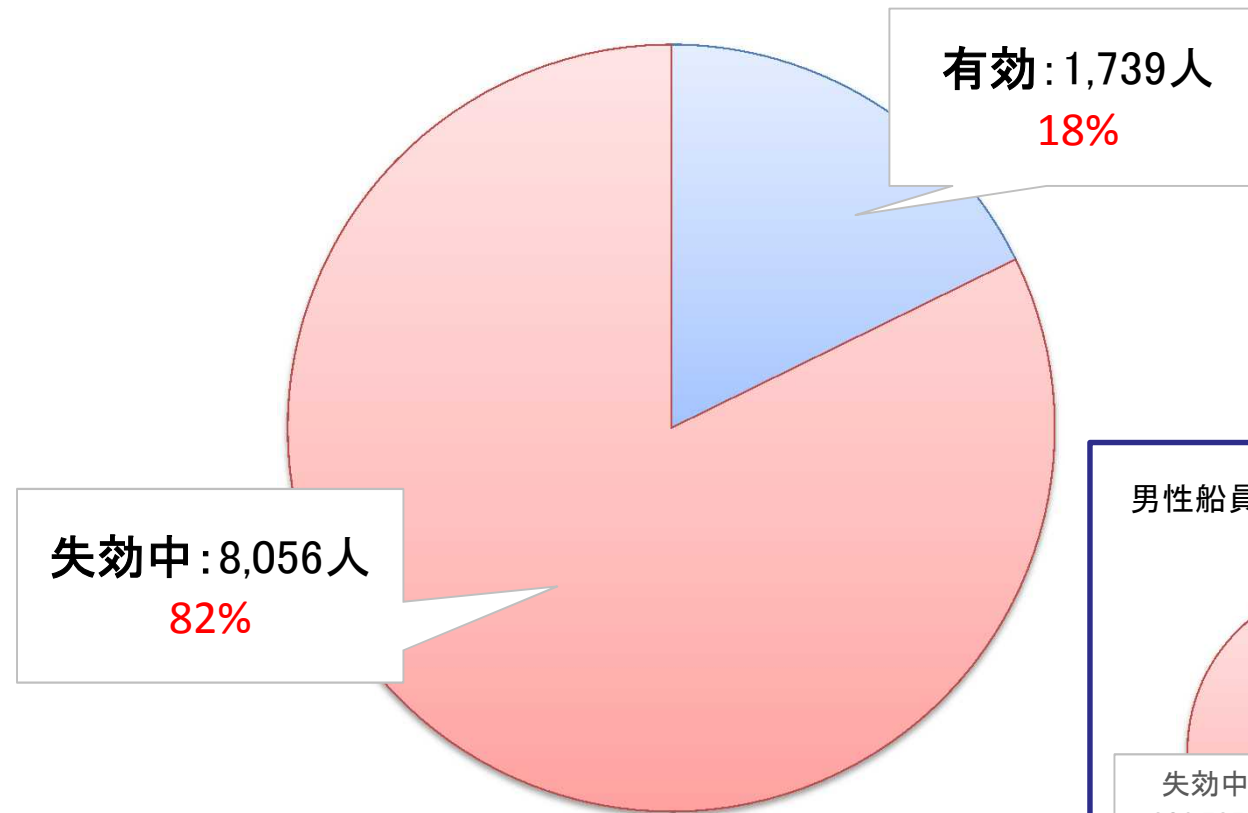
女性の海技免状有効者の年齢構成

60歳未満の海技免状保有者の年齢構成



出典: 海事局調べ。(2017年3月31日現在)

女性船員の海技免状の失効割合



出典：海事局調べ。平成28年3月31日現在

注：①「保有者数」は、有効期間が切れているものを含む

②「有効」は、海技免状が有効期間内のみ

③「失効中」は、①－②により算出

女性を就業させてはならない業務の範囲

労働基準	<p style="text-align: center;">船員 (船員労働安全衛生規則)</p>	<p style="text-align: center;">一般労働者 (女性労働基準規則)</p>
重量物業務	1人につき30キログラム以上の重量が負荷される運搬又は持ち上げる作業	以下の重量物を取り扱う業務 ・断続作業の場合:30キログラム ・継続作業の場合:20キログラム
有害物業務	<ul style="list-style-type: none"> ・人体に有害な気体を検知する作業 ・腐しよく性物質、毒物又は有害性物質を収容した船倉又はタンク内の清掃作業 ・有害性の塗料又は溶剤を使用する塗装又は塗装剥離の作業 	鉛、水銀、クロム、砒素、黄リン、弗素、塩素、シアン化水素、アニリンその他これらに準ずる有害物のガス、上記又は粉じんを発散する場所における業務
妊産婦	妊婦:原則、船内就業禁止。(医師が認めた場合も母性保護の業務規制有り) 産婦:母性保護の業務規制のうち、高所作業は就業可能	妊婦:母性保護の業務規制有り。 産婦:母性保護の項目のうち、ボイラー業務、揚貨装置の運転や高所作業等は就業可能